

実務経験のある教員等による授業科目一覧

科目名	授業時間数	教員	学年
健康指導法	60	中村	2
人間関係指導法	60	中村	2
保育実習指導Ⅲ	30	大井	2
乳児保育Ⅰ	30	高橋	1
乳児保育Ⅱ	30	高橋	1
特別支援保育	60	中西	1
子ども家庭福祉	30	大沢	1
社会福祉	30	大沢	1
子ども家庭支援論	30	相澤	1
子ども理解の理論と方法	30	相澤	1
合計	390	6名	

実務経験のある教員等による授業の特徴・形式と教員紹介

健康指導法（中村香津美）

領域「健康」の10の内容や「幼児のおわりまでに育ってほしい姿」について事例や演習を通して学ぶ。担当教員は数多くの都内の幼稚園に勤務した経験があり、子どもの具体的な姿を基に保育者の役割について考える授業を展開する。

人間関係指導法（中村香津美）

「人間関係」の13の内容や「幼児の終わりまでに育ってほしい姿」について事例をもとに個人やグループで検討する演習である。担当教員は数多くの都内の幼稚園に勤務した経験があり、幼児のその時の思いや保育者のかかわり方について具体的な場面を想定して授業を展開する。

保育実習指導Ⅲ（大井靖）

保育実習Ⅰの体験に基づき、より明確な課題意識を持たせ、個別の支援計画の作成を学ぶ。担当教員は東京都立養護学校教員として更に東京都立特別支援学校長としての経験をもつ。学校の実情と児童福祉施設の実態とを合わせ、施設が期待する保育士像を指導する。

乳児保育Ⅰ（高橋三鈴）

乳児保育の歴史、目的や内容について理解する講義であるが、具体的な事例を基にグループワークを用いながら理解を深める授業を展開する。担当教員は江戸川区立の保育士や園長として勤務した経験があり、実務経験に基づいた保育者養成をめざす。

乳児保育Ⅱ（高橋三鈴）

3歳未満児の保育における子どもの生活やあそびの特徴及び保育の方法や環境構成について具体的に理解を深める演習である。担当教員は江戸川区立の保育士や園長として勤務した経験があり、多くの事例や保育実践に基づき授業を展開する。

特別支援保育（中西郁）

特別の支援を必要とする子どもの障害の状態や心身の発達を理解し、特別支援教育の理念や仕組みを理解することがねらいである。担当教員は東京都立養護学校の教諭及び校長としての実務経験があり、具体的な支援の方法や指導計画や個別の支援計画の実際について学ぶ。

子ども家庭福祉（大沢博）

内容から知識・理解を必要とする講義形式であるが、現状や動向についての具体的事例を随所に取り入れている。担当教員は東京都立の児童自立支援施設の専門員、知的障害者更生施設の生活指導員等の実務経験をもとに豊富な事例を紹介し、学生に問題意識を持たせる。

社会福祉（大沢博）

現代社会における社会福祉の意義、仕組み、動向について、具体的に理解させる授業である。担当教員は東京都立の児童自立支援施設及び知的障害者更生施設で専門員、指導員として、更に児童相談所、児童相談センターで児童福祉司として勤務してきた。それらの豊富な体験が学生に深くしみ入る授業を展開する。

子ども家庭支援論（相澤千枝子）

講義形式を基本とするが、子育ての実態や家庭の現状を踏まえ、「どのような支援が求められているか」について演習の時間も取り入れる。担当教員は豊島区の公立保育園の保育士及び園長として勤務しており、保育士の立場として具体的な支援を考察する授業を展開する。

子ども理解の理論と方法（相澤千枝子）

子どもの言葉や行動には、いろいろな意味があるという保育の基本を様々な事例を基に学んでいく。担当教員は豊島区の公立保育園の保育士及び園長として勤務しており、多くの事例から子どもに心を寄せる姿勢や個と集団の関係について理解を深め、保育者の専門性を高めることをめざす授業を展開する。